



佐賀市子どもへのまなざし

ネット見守り通信

第8号

こども家庭庁では、児童生徒が夏休みに入る7月を「青少年の被害・非行防止全国強調月間」と定めています。今年度の最重点課題は「インターネット利用における子どもの性被害等の防止」です。

「推し活仲間」だから安心・・・？

お子さんは SNS やオンラインゲームで知り合った「推し活仲間」と交流していませんか？



「推しが同じでうれしい！」

「グッズ交換できるよ♪」

「会場で直接渡せるよ」

「〇〇ちゃんだけに話すね」

こうしたやり取りが、子どもを誘い出すきっかけとして利用されることがあります。

子どもが安心してしまう理由

- ・好きなものが同じ
- ・長くやり取りしている
- ・優しく話を聞いてくれる

実際には・・・

- ・個人情報を聞き出される
- ・会う約束をさせられる
- ・性被害につながるおそれ

近年は、「推し活仲間」を装って子どもに近づき、信頼関係を築いたうえで個人情報を聞き出したり、イベント会場などで会う約束を持ちかけたりするケースが見られます。相手は同年代を名乗っていても、実際には大人であることもあります。

子どもは相手を信頼してしまい、警戒心が薄れてしまうことがあります。その結果、実際に会う約束をしてしまい、性被害や犯罪被害に巻き込まれるおそれがあります。

インターネットをきっかけとした性被害から子どもを守るために

夏休みは SNS やゲームの利用時間が増える時期です。お子さんが推し活を通じて SNS 上で知り合った人と交流していないか、また、困ったときに相談できる関係が築けているか、この機会に話題にしてみましょう。

佐賀市教育委員会 社会教育課 子どもへのまなざし運動・若者支援推進室

TEL:0952-40-7354 FAX:0952-24-2332

E-mail:shakaikyoiku@city.saga.lg.jp